

# 医療におけるビッグデータ活用の最前線

## National Database 利活用の現状と今後

### ◆ 診療に関する様々な事項を集計

例：診療行為や投与された医薬品、医療給付点数等の地域別、性別、年齢階級別の実績

### ◆ 特定の事例を時系列で追跡しアウトカムを分析

例：COPD患者における在宅酸素療法導入後の実態評価

### ◆ 診療に関連する様々な事項を健診情報と関連づけて分析

例：運動習慣のある受診者のうち、メタボリックシンドロームを有する患者の割合  
地域別、性別、年齢階級別の食習慣や飲酒、喫煙についての情報  
メタボリックシンドロームの基準を満たす特定健診受診者1人あたりの平均医療費

2015年

12月4日 **金** 17:30-19:00

宮崎大学清武キャンパス臨床講義室（1階105号室）



**講師：吉村 健佑 先生**

厚生労働省保険局医療介護連携政策課  
保険システム高度化推進室・室長補佐

このセミナーでは、医療分野のビッグデータベースである**National Database\***の概要や利用手順を理解するとともに、解析・研究事例を通してその有用性や活用法を学びます。

\* National Database (NDB): 厚労省が整備した全国の医療機関から収集したレセプト情報・特定健診等情報のデータベース

問い合わせ窓口

主 催：宮崎大学テニュアトラック推進機構  
**TEL 58-7675（内線7675）**

共 催：宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科FD委員会

世話人：テニュアトラック推進機構・看護学系 吉永尚紀  
E-mail: naoki-y@med.miyazaki-u.ac.jp